

問12 広報活動について、ご意見やご要望等がありましたら、ご自由におかきください。

職員との対話を大切にしたいです。

問5のあとの質問の意味がわからない。わかりやすい質問にしてください。無回答だと送信できないので無意味の回答です

回答内容がおざなりであきれる場合がある。警察が担当する交通事情について市がもっと関与してもいいのでは？制限速度、Uターン禁止、等々。

仕事柄、近隣市町の行政の方とも関わることがあるのですが、ありがたいことに長久手役所の方々が一番住民との距離感が近く感じます。広聴活動も活用しつつ、これからも住民との協調でよりよいまちづくりを期待しています。

広報活動はそれぞれ目的があって行っているので意見類をもっと取り上げて欲しい。

聞くだけならできると思います。どれだけ、市民のために動いてくれるのか疑問に思います。

意見や提案があって、それが長久手市の管轄では無くても関係機関に連絡します。で 終わりではなく、その後のフォローアップをお願い致します。

よく共生ステーションや保育園建設にあたり、意見交換会を開くが、子育て世代は忙しく、子連れではなかなか行けないので、結局高齢者が多く参加。それで高齢者の過ごしやすい意見ばかり反映され、子育てしにくい市になってると思います。小学生になっても親が安心して働ける児童クラブも充実してない、働ける時間を狭めていると思います。若い町長久手なのに、高齢者の意見ばかり聞くのはどうかと思う。もっと意見交換会ではなく、職員が公平に、今市民が何を望んでるのかを判断すべき。意見を反映させることばかりで、高齢者のいいように傾いていると思う。

プッシュ型情報発信の充実

一平さんの前の町長の時、メールで問い合わせをしたことがありましたが、1週間以上してからの回答が来ましたが、一平さんになってから、即日(遅くても翌日)には返答が来たことに、感激しました。なので、広報活動も、今の現状で良いので、進んで行って欲しいと思います。

提案内容の公表と不採用の理由

広聴活動の意見と回答を掲載

危険箇所の報告をしても「すぐには改善できない」「県の道路なので…」という答えばかりで、前向きな回答を得られたことがない。もちろんすぐに出来ない事情もあるだろうが、改善しようという姿勢さえ見られないのは残念。

積極的にPRが必要。

LINEで意見などを伝えられたら、若い方々の意見を取り入れやすいかとおもう。

若者が意見するのは結構ハードルが高いので、容易に意見が送れるようなアイディア、例えばアナウンスや設置場所等の検討ができるとよいかと思った。

吉田一平市長になってから、ずいぶん幅広い広報活動をされるようになったと思います。これからも市民ファーストでいて欲しいと感じています。

市民祭りなどで ブースを設け 簡単なアンケート形式で意見を求めているのは でしょうか？

市民の意見を聞く事について、選挙と同じで一部の偏った人達の考えや意見が反映されるので、その他大勢の意見を取り入れる方法を考える必要がある。公共の場だけではなく、人が多く集まる店や場所も活用して意見要望を集める機会を増やしてはでしょうか。

市民登場の記事がもう少しあったほうが良いと思う。

市議に相談することもあります。広報にも問い合わせの質問内容と回答、進捗状況を公表してほしい